

【I テモテへの手紙 5章】  
「パウロの同労者テモテ」



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

今週は白馬スネルゴイキャンプが開かれます。スネルゴイとは同労者という意味で、終わりの時代の主の働きを共にする為に、霊的な訓練を受けるキャンプです。(スキーやスノーボーをしに行く方もありますが、これが主な目的です。)

今日はまさにパウロの同労者であったテモテがどのような人物であったかについて少し考えてみましょう。

テモテは若いながら、エペソの教会の牧師をしていました。教会内でも社会的にも様々な問題や難問を抱えていましたが、パウロは手紙を通して、クリスチャンとして、教会の指導者としてあるべき姿勢について、老人、やもめに対する接し方、指導の任に当たっている長老(牧師)についての注意など、牧会上の注意点について細かく指導しています。テモテの父親はギリシャ人でしたが、母と祖母はユダヤ人のクリスチャンであり(II テモテ1:3~5)彼らの良い影響を受けて**純粋な信仰**を持っていました。また、ルステラとイコニオムとの兄弟たちの間で**「評判の良い人」**であったと書かれています。

パウロの第1回伝道旅行の時ルステラでテモテの家に泊まりそこでテモテは信仰に入ったようです。第2回伝道旅行の時、ルステラでテモテに割礼を受けさせ、第3回伝道旅行の時同行させています。パウロがローマで捕えられた時も一緒にいました。パウロが釈放された時、テモテをエペソに遣わし、エペソの監督になってテモテは殉教したのではないかとされています。

パウロの伝道というと、彼一人がヨーロッパ中を駆け巡って成し遂げたかのように思われがちですが、そうではなく、初めからチームワークとしてなされていました。パウロを中心に、シラス、ルカなど、大勢の人々がそれぞれの役割を果たして伝道していたのですが、テモテもその中の重要な一人でした。彼はパウロの**「伝道のパートナー」**でした。国際結婚の両親のもとに生まれたので、国際感覚を身に付け、2つの文化を知っていたことは宣教の助けとなったことでしょう。パウロはテモテを愛し、**「信仰による真実の我が子テモテ」**と呼んでいます。

テモテは奉仕に忠実(ピリピ2:22)でした。またパウロに愛されていました。(I テモテ1:2,18)そしてパウロの生き方に従っていました。(I コリ4:17)若いゆえに教えを必要としていました。(I テモテ4:12~16)病弱な所はパウロと共感できたでしょう。(I テモテ5:23)信仰を守るように励まされ(I テモテ6:20~21)情にもろい(II テモテ1:4)という面もありました。テモテはパウロの同労者として世界宣教にはなくてはならない人物として覚えられています。

私達の教会はイエス・キリストを主任牧師として、責任長老始め12人の長老のもとに牧師、伝道師が立てられ、私達もまた同労者として選ばれ、訓練を受けるように導かれています。私達もテモテの様に、真実に主を愛し人々を愛し、主の働きに大いに役立つ同労者となれますように。このキャンプで学び、訓練を受けてゆきましょう。行くことが出来ない方も、DVD等で恵みにあずかり、共々に成長してまいりましょう!

JOY..... J:jesus first O:others second Y:yourself last

\*皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.2.24 No.725

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。  
地よ。聞け。私の口のことばを。  
私のおしえは、雨のように下り、  
私のことばは、露のようにしたたる。

若草の上の小雨のように。

青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

**栄光を私たちの神に帰せよ。**

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。  
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1~4



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlccfrh.astone-blog.jp/>